

2017年度第1四半期決算

取締役 兼 執行役員専務 財務・調達本部長

荻原 弘之

2017年8月2日

古河電気工業株式会社

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

- 営業利益は **104億円**と、**前年比+58億円 (+123%)**
営業利益率は **4.6%**と、**前年比2.3ポイント改善**
 - － 光ファイバ・ケーブルや半導体製造用テープ、銅箔も含め、全体的に需要が好調で全セグメントで増収増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は **68億円**と、**前年比+45億円 (+197%)**
 - － 営業利益の増益に加え、持分法投資損益の改善により増益

(単位：億円)	Q1		
	FY16	FY17	前年差
売上高	1,962	2,249	+288
営業利益	47	104	+58
営業利益率	2.4%	4.6%	+2.3
経常利益	42	101	+59
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	68	+45

上半期予想の見直し

- 営業利益は **205億円と、前年比+72億円(+54%)、当初予想比+60億円(+41%)**
 - Q 2も、総じて好調な需要が継続と見込み、当初予想から上振れする見通し
- 親会社株主に帰属する当期純利益は **195億円と、前年比+128億円(+192%)、当初予想比+55億円(+39%)**
 - Q 2は、営業利益の上振れに、特別利益で当初より予定の不動産売却益の計上を見込む

通期予想の見直し

- 営業利益は **430億円と、前年比+44億円(+11%)、当初予想比+60億円(+16%)**
 - 上半期予想の見直しを反映（下半期予想は、当初予想を据え置き）

(単位：億円)	H 1 * : 5/10公表値				
	FY16	FY17		前年差	当初予想差
		当初予想*	今回予想		
売上高	3,976	4,200	4,500	+524	+300
営業利益	133	145	205	+72	+60
営業利益率	3.3%	3.5%	4.6%	+1.2	+1.1
経常利益	102	140	200	+98	+60
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	140	195	+128	+55

通期 (H 2は当初予想据え置き)				
FY16	FY17		前年差	当初予想差
	当初予想*	今回予想		
8,433	8,850	9,150	+717	+300
386	370	430	+44	+60
4.6%	4.2%	4.7%	+0.1	+0.5
360	375	435	+75	+60
176	200	255	+79	+55

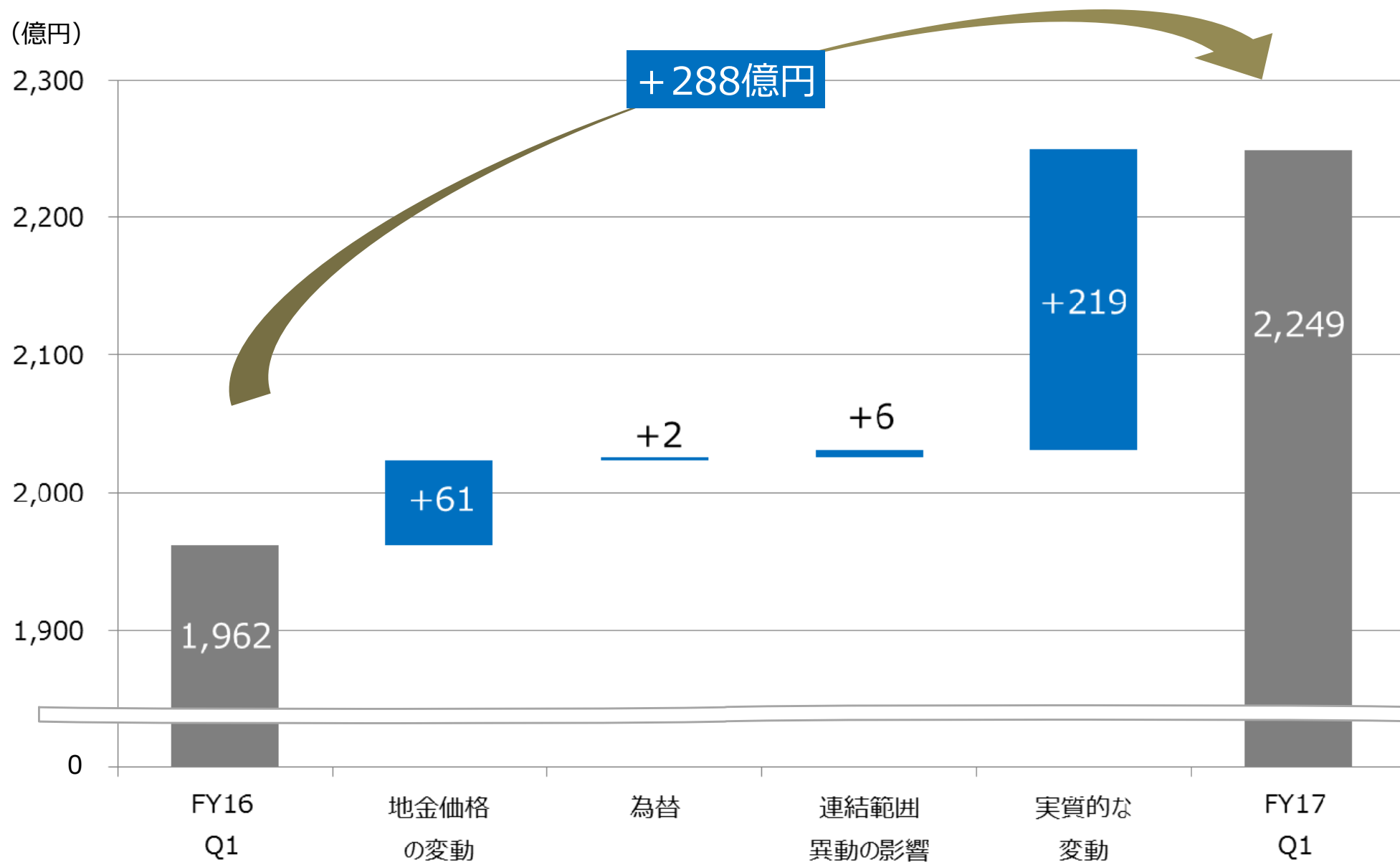
17年度 Q1実績と上半期予想 – 要約P&L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)

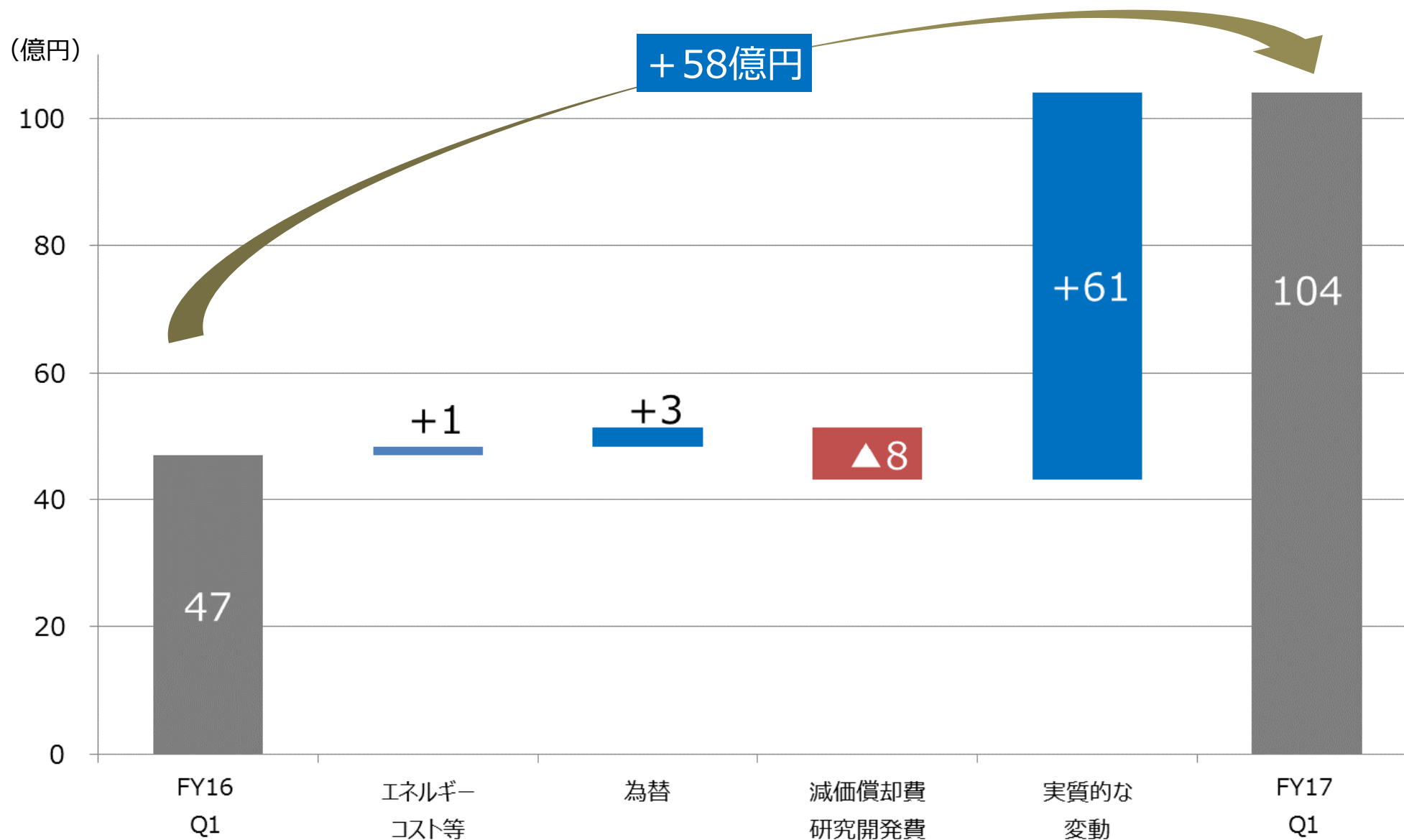
	FY16		FY17 *今回予想		前年比増減		主な増減内訳 (Q1)
	Q1実績	H1実績	Q1実績	H1予想*	Q1	H1	
	a	b	c	d	c-a	d-b	
売上高	1,962	3,976	2,249	4,500	+288	+524	7ページ参照
営業利益	47	133	104	205	+58	+72	8ページ参照
(率)	2.4%	3.3%	4.6%	4.6%	+2.3	+1.2	
持分法投資損益	0	–	9	–	+8	–	
為替損益	▲ 5	–	▲ 5	–	+1	–	
経常利益	42	102	101	200	+59	+98	
(率)	2.1%	2.6%	4.5%	4.4%	+2.4	+1.9	
特別損益	10	16	▲ 2	55	▲ 11	+39	・特別利益：▲14 (16→2) ・特別損失：+3 (▲6→▲4)
法人税等	17	–	23	–	+6	–	
非支配株主に帰属する 当期純利益	12	–	8	–	▲ 4	–	
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	67	68	195	+45	+128	
(率)	1.2%	1.7%	3.0%	4.3%	+1.9	+2.7	
銅建値 平均	556	544	672	648	–	–	* Q2以降の前提：625
為替 平均	108	105	111	108	–	–	* Q2以降の前提：105

Intentionally Blank

売上高の増減要因（前年比）



営業利益の増減要因（前年比）



17年度セグメント別 Q1実績及び上半期予想

(単位：億円)

		Q1			H1		
		FY16	FY17	前年差	FY16	FY17 今回予想	前年差
売上高	インフラ	618	696	+78	1,225	1,400	+175
	情報通信ソリューション	402	450	+48	798	900	+102
	エネルギーインフラ	216	246	+30	427	500	+73
	電装エレクトロニクス	1,046	1,220	+174	2,152	2,450	+298
	自動車部品・電池	503	568	+65	1,047	1,150	+103
	電装エレクトロニクス材料	543	652	+109	1,105	1,300	+195
	機能製品	332	364	+33	659	700	+41
	サービス・開発等	116	124	+7	239	250	+11
	連結消去	▲ 151	▲ 155	▲ 4	▲ 299	▲ 300	▲ 1
	連結合計	1,962	2,249	+288	3,976	4,500	+524
営業利益	インフラ	23	39	+16	53	80	+27
	情報通信ソリューション	28	40	+12	58	80	+22
	エネルギーインフラ	▲ 5	▲ 1	+4	▲ 5	0	+5
	電装エレクトロニクス	9	35	+26	33	65	+32
	自動車部品・電池	4	23	+18	27	45	+18
	電装エレクトロニクス材料	5	13	+7	6	20	+14
	機能製品	19	33	+14	50	65	+15
	サービス・開発等	▲ 4	▲ 2	+2	▲ 4	▲ 5	▲ 1
	連結消去	▲ 0	0	0	0	0	0
	連結合計	47	104	+58	133	205	+72

17年度セグメント別 通期予想

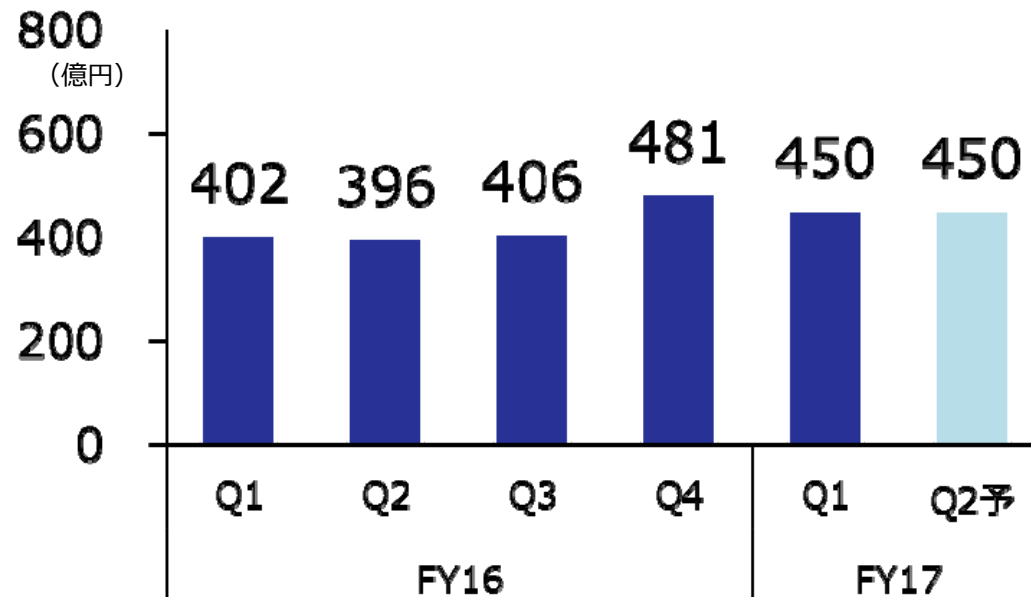
(単位：億円)

		通期 *1: 5/10公表値 *2: 2H予想据え置き				
		FY16	FY17		前年差	当初予想差
			当初予想*1	今回予想*2		
売上高	インフラ	2,638	2,850	2,950	+312	+100
	情報通信ソリューション	1,685	1,750	1,850	+165	+100
	エネルギーインフラ	953	1,100	1,100	+147	0
	電装エレクトロニクス	4,555	4,750	4,900	+345	+150
	自動車部品・電池	2,234	2,300	2,350	+116	+50
	電装エレクトロニクス材料	2,321	2,450	2,550	+229	+100
	機能製品	1,315	1,350	1,400	+85	+50
	サービス・開発等	497	500	500	+3	0
	連結消去	▲ 570	▲ 600	▲ 600	▲ 30	0
	連結合計	8,433	8,850	9,150	+717	+300
営業利益	インフラ	143	130	163	+20	+33
	情報通信ソリューション	142	143	168	+26	+25
	エネルギーインフラ	1	▲ 13	▲ 5	▲ 6	+8
	電装エレクトロニクス	128	135	150	+22	+15
	自動車部品・電池	101	95	105	+4	+10
	電装エレクトロニクス材料	27	40	45	+18	+5
	機能製品	117	110	125	+8	+15
	サービス・開発等	▲ 1	▲ 5	▲ 8	▲ 7	▲ 3
	連結消去	0	0	0	0	0
	連結合計	386	370	430	+44	+60

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

売上高

(事業部門：ファイバ・ケーブル、ファイテル製品、ブロードバンドソリューション)



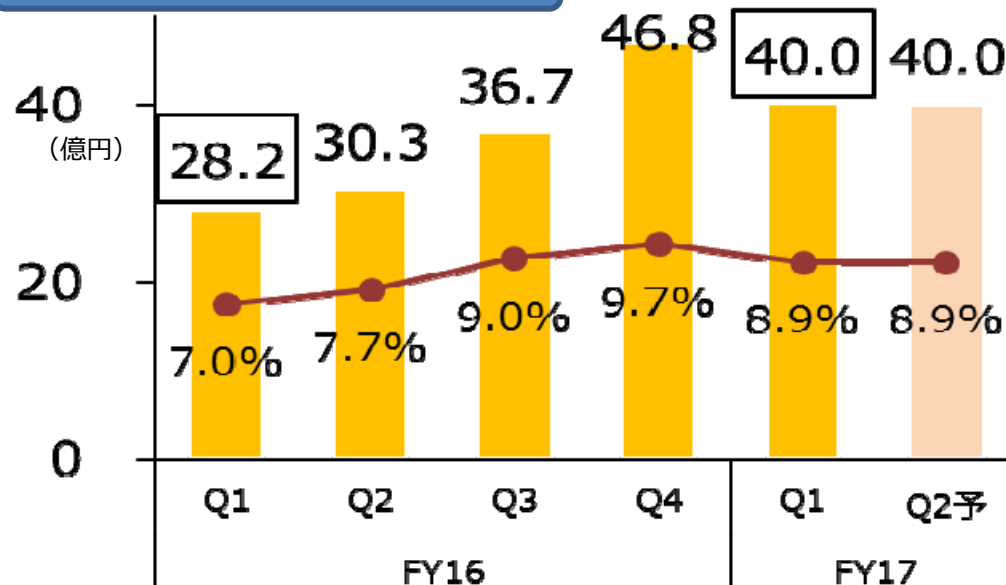
＜営業利益の増減内容＞

Q1実績：前年差 +11.9億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 光ファイバ・ケーブル需要が、北米を中心に好調継続
- 国内ネットワークシステムも、光化に伴う需要増が寄与
- デジタルコヒーレント関連製品が、中国市場の調整局面の影響で売上減

営業利益・営業利益率

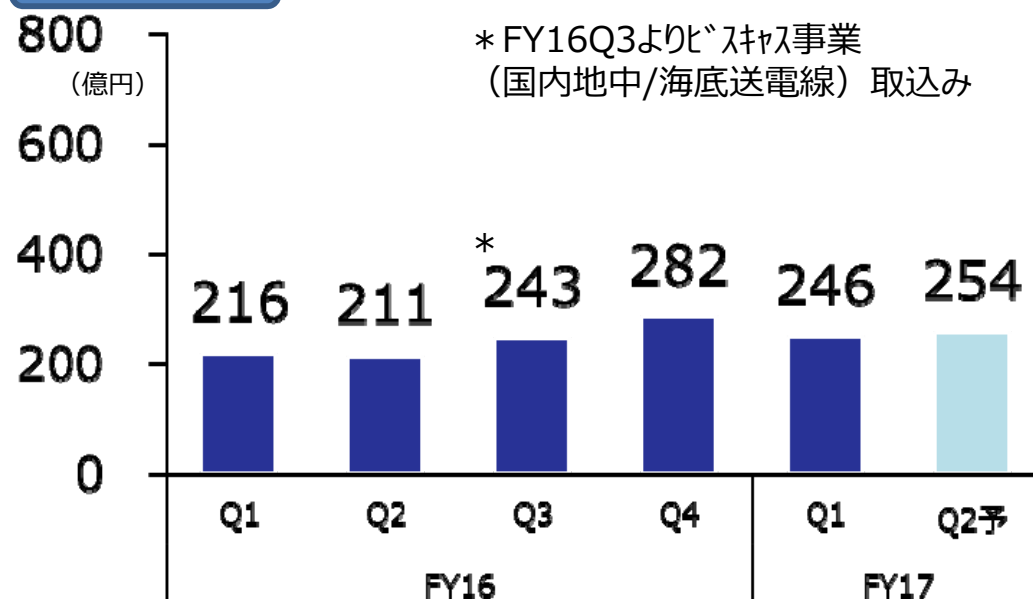


Q2予想

- ・ 全体としては好調継続 (Q1比)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

売上高



(事業部門：電力、産業電線・機器)

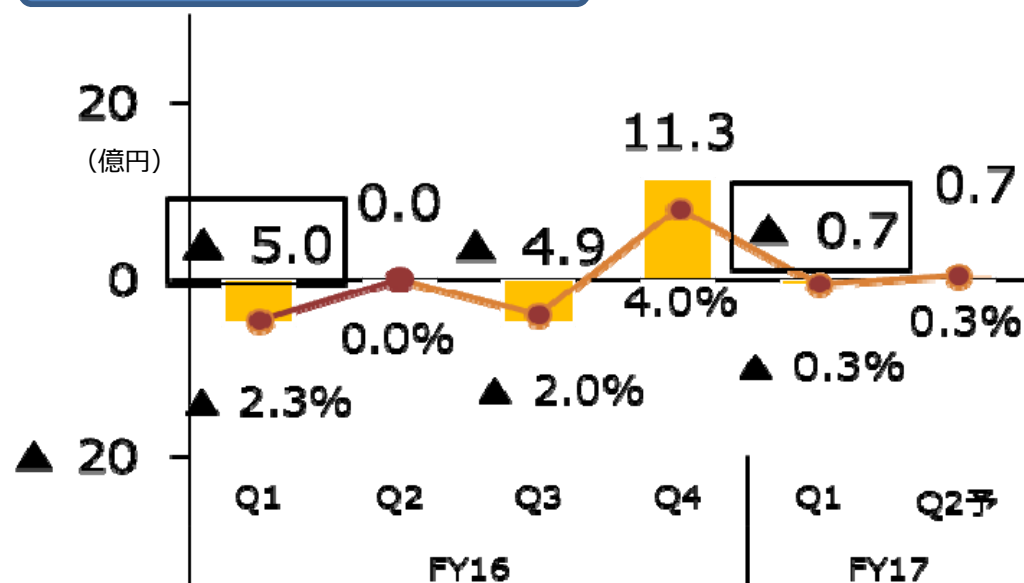
＜営業利益の増減内容＞

Q1実績：前年差 +4.3億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 国内電力工事の大型案件や、ロイヤルティ収入が寄与

営業利益・営業利益率



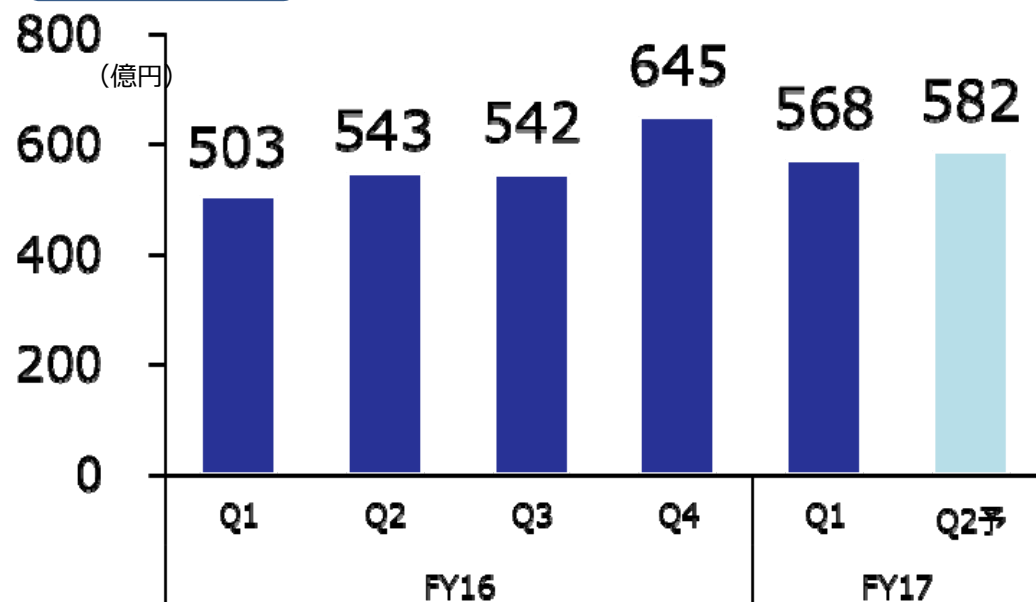
Q2予想

- ・国内電力工事案件と地中線輸出により増収(Q1比)

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

売上高

(事業部門：自動車部品、電池)



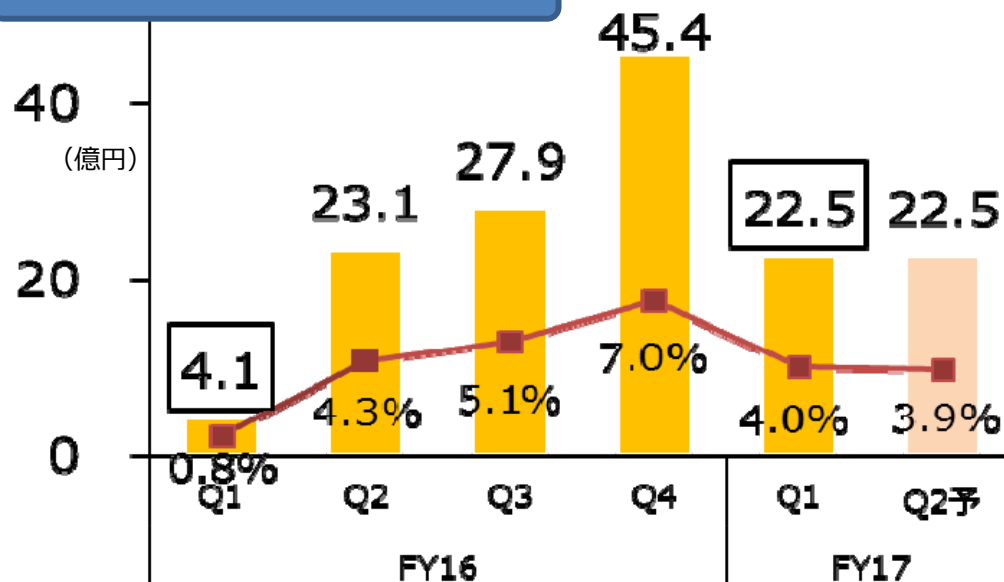
＜営業利益の増減内容＞

Q1実績：前年差 +18.4億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 自動車部品は、国内需要が、昨年4月の熊本地震などの影響から回復
- 新車種向けも好調
- 生産効率化、物流費削減などの原価改善も寄与

営業利益・営業利益率



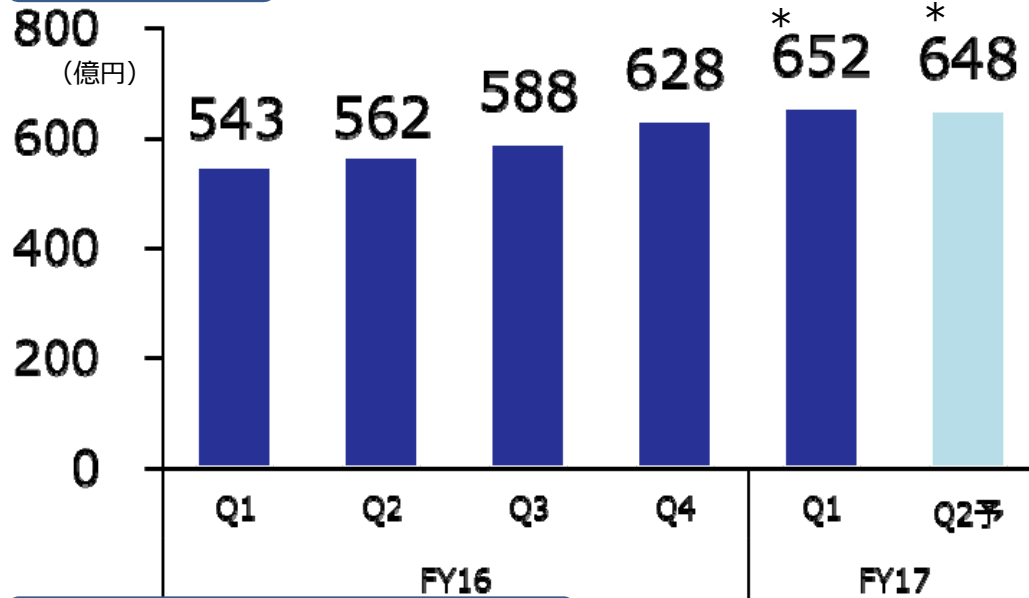
Q2予想

- ・ 自動車部品はQ1の需要環境が継続

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料) FURUKAWA ELECTRIC

売上高

* 増収は銅価上昇の影響有り (事業部門：導電材、巻線、銅条・高機能材、銅管)



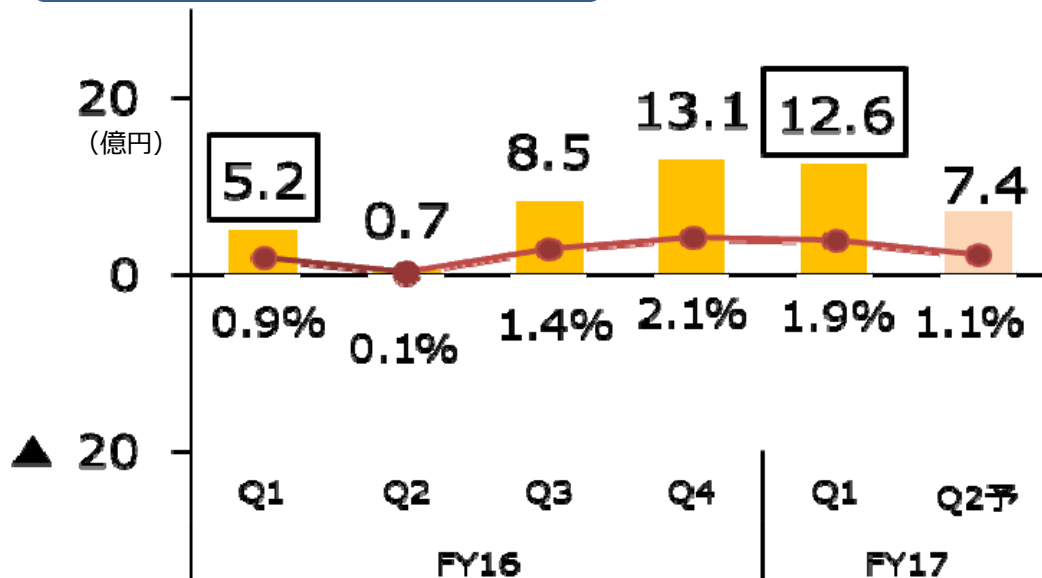
<営業利益の増減内容>

Q1実績：前年差 +7.4億円

□ : 増益要因 ■ : 減益要因

- 銅条など伸銅品の需要が増加
- 巻線は、自動車用やスマホ用が堅調

営業利益・営業利益率



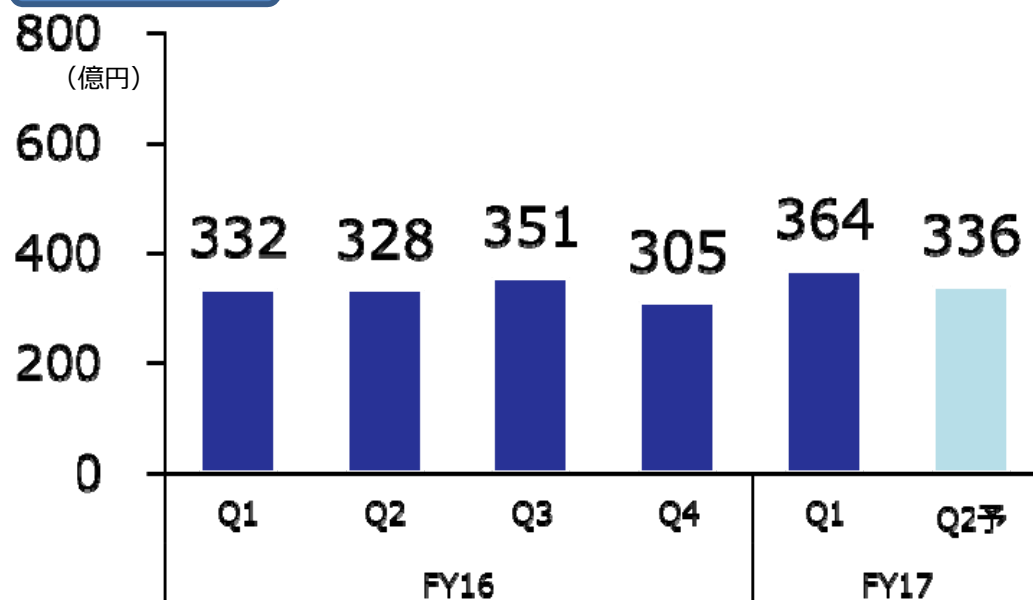
Q2予想

- ・ 銅条・高機能材で、昨年の開発案件による一時的なコスト増が解消 (前Q2比)
- ・ 銅管は、季節性で減益 (Q1比)

3 機能製品

売上高

(事業部門：AT・機能樹脂、サーマル・電子部品、メモリーディスク、銅箔)



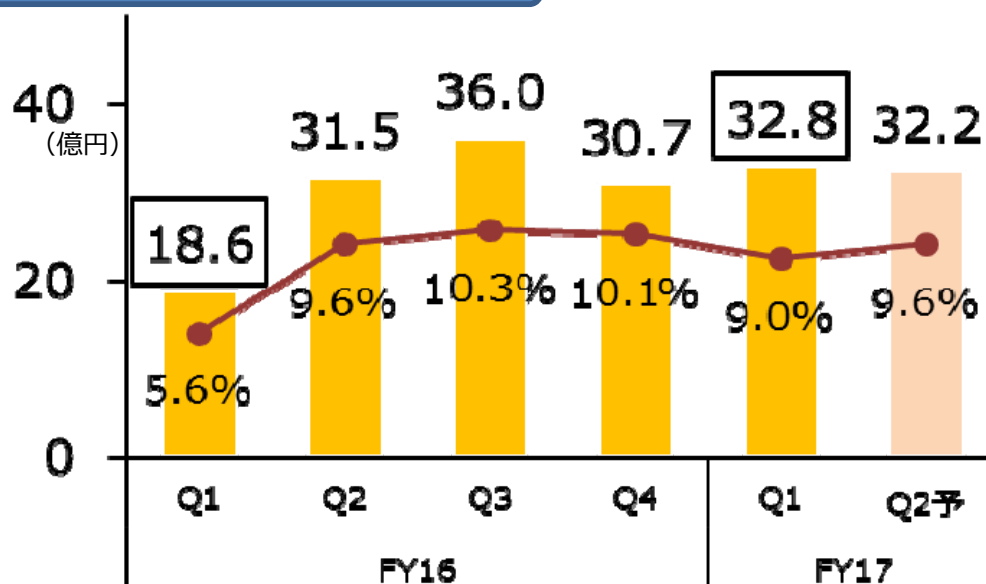
＜営業利益の増減内容＞

Q1実績：前年差 +14.2億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 半導体製造用テープは、需要堅調
- 銅箔も、需要堅調や生産性向上が寄与
- サーマル・電子部品は、データセンター向け需要が増加

営業利益・営業利益率



Q2予想

- ・ 全般的に好調継続 (Q1比)

17年度Q1実績 – 要約B/S

(単位：億円)

	16Q4末	17Q1末	増減	主な増減要因
流動資産	3,824	3,902	+78	棚卸資産 +85
現金及び預金	472	432	▲ 39	
受取手形及び売掛金	1,989	2,020	+32	
固定資産	3,677	3,707	+30	
有形固定資産	2,055	2,110	+55	
無形固定資産	97	96	▲ 1	
投資その他の資産	1,525	1,501	▲ 24	
資産合計	7,501	7,609	+108	新規連結の影響 +60
流動負債	2,934	3,122	+188	CP +220
固定負債	2,197	2,090	▲ 107	社債 ▲100
負債合計	5,131	5,212	+81	
株主資本	1,943	1,968	+25	
その他の包括利益累計額	124	113	▲ 11	
非支配株主持分	303	316	+13	
純資産合計	2,371	2,397	+27	
負債純資産合計	7,501	7,609	+108	
有利子負債	2,525	2,734	+208	
自己資本比率	27.6%	27.3%	▲ 0.3	
NET D/Eレシオ	0.99	1.11	+0.11	

17年度Q1実績 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	FY16Q1	FY17Q1	前年差	FY17年間予想
設備投資額	45	72	+27	380
減価償却費	58	62	+4	265
研究開発費	42	46	+4	194

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***